



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第17号
2011年10月

副議長を拜命いたしました!

【挨拶】

市議会議員として2期5年目を迎えました。皆様のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。5月に開催されました臨時議会に於きまして副議長に就任いたしました。今まで以上に深谷市発展のため、市民皆様の生活向上のため活動して参ります。



深谷市議会の慣例で、副議長は一般質問ができません!副議長は議長に何かあった時に、議長職を代行します。もし一般質問をしている最中にことが起きたら対処できないというのが理由の一つで、その他にも議長副議長は議会の中で秩序を守るため中立でなくてはという理由からのようです。議員になり毎回一般質問を行ってきた自分としては残念ですが、これを充電期間と捉え来年の6月まで精進して参ります。

【東日本大震災に関する報告】

3月11日に発生しました東日本大震災の後、4月1日には多くの皆様からの支援物資を提供していただき、被災地・宮城県亘理町に届けてきました。その後、選挙期間(4月17日~24日)をはさみ、4月28日には深谷市の友好都市である岩手県田野畑村に深谷市内の子どもたちが集めてくれた文房具を「メッセージが書かれた“こいのぼり”」とともに届けて参りました。少し落ち着きを取り戻した亘理町、田野畑村から、お礼状が届きましたことをご報告させていただきます。8月には亘理町を再訪し復興状況を見て参りました。そして9月27日に「ふかや市商工会」の案内役として亘理町を訪ね商工業者の現状等を視察して来ました。また、10月中旬には田野畑村に行く予定です。被災地はこれから寒い冬を向かえます、まだまだ支援を必要としています、一人一人が出来る支援を継続して行い、一日も早く復興できるよう努めて行きましょう。がんばろう!日本!



▲田野畑小学校の様子

亘理町の様子



▲仮設住宅

◀瓦礫の山

視察報告1 柏崎刈羽原子力発電所

総発電量世界1の発電所ですが、2007年に発生しました新潟中越沖地震で火災が発生し微量の放射性物質が検出されたことと定期点検を受け、7機のうち運転は2機のみとなっています。説明では消火設備や非常用電源の確保には2重3重の措置を施しているとのことで、津波対策に高さ15メートルの防波堤も建設予定とのことでした。



柏崎刈羽原子力発電所

視察報告2 再生可能エネルギー



メガソーラー発電



風力発電



燃料電池

8月に「党派・志政会」で、日本一の再生可能エネルギーの街、稚内市を視察してきました。稚内は風の街として有名ですが、その風を逆に利用し74基の風車が設置され市内約80%の電力を賄えるそうです。その他、太陽光発電は国が実験的に設置したもので積雪など厳しい自然環境の中ですが、ここで成功すれば全国で通用するとの実験も成功したそうです。注目は燃料電池です、水素と酸素を利用する発電で、これが普及すれば送電線も要らず、被災地などでも利用ができ大変便利になると感じました。こうした取組みは、行政と民間企業や大学などが中心に行われていて地域経済の発展にも大変な効果がありますので、我深谷市でも強力に推進すべきと提言して参ります。

【議会報告】

平成23年 第3回定例会9月議会が終了しました。
 主な議案は
 ・平成22年度 深谷市一般会計歳入歳出決算認定
 ・深谷市税条例の一部を改正する条例
 ・財産の取得について
 ・平成23年度 深谷市一般会計補正予算（第3、4号）
 その他、25議案、請願2件が審議されました。

ここに注目 **パート1** (決算特別委員会)

決算認定に先立ち、議員自らが議会改革を行うべく全議員による「議会改革委員会」を立ち上げました、そして私は副委員長兼第一専門部会会長として「決算特別委員会」の骨子を作成し、委員会が立ち上げられ、22年度決算を審査いたしました。結果、今までより各事業を精査し税金が市民のために有効に使われているかを評価することが出来ました。今後は来年度予算編成に向けて予算特別委員会を立ち上げ、決算で提言したことが、どう予算に反映されているかを精査して行きたいと思っております。

【決算認定】

平成22年度 一般会計歳入歳出決算は決算額および諸財政数値から財政の健全性が認められましたが、負担金や財産収入での多額の収入未済金や勤労者住宅建設資金貸付あっせん事業などでの預託金のあり方に課題があり付帯決議となりました。

※付帯決議とは、可決された議案に対し意見や希望を沿えるもので法的拘束力はありません

【財産取得】

これは、上柴ショッピングセンター“アリオ”南にある「旧埼玉県立総合教育センター深谷支所跡地を県から買い入れるという

ご報告 **いよいよ始まりました！小前田の排水工事**

長年の課題であった、小前田地区の配水事業が始まりました。今年度から5年間、総工費15億円を掛けまして行われます。荒川から小前田駅北側までの排水工事で、この工事が完了すれば次は、道路の拡張や道路側溝の工事に着手できます。長年の課題に対して、大きな一歩を踏み出せたという思いです。関係者の皆様、ありがとうございました



もので、土地・約4,545坪を5億4千783万2千円で建物12棟・延べ床面積約1万1千650㎡築28年を1億3千942万4千円、合計6億8千725万6千円で取得するというものです。



旧県立教育センター跡地



清水の私見

現地を何度も見させていただき、建物は耐震性に問題はなく立派なもので、土地の方も地価公示価格の約半額ということで決して高い買い物ではないと思うのですが、利用方法が示されておらず疑問を感じます。利用方法が決まっていれば、はじめて高いとか安いと言う議論が行われるべきではないでしょうか？市は昨年6月から利用方法について検討してきたのですが、結論には至っておりません。

施設の大きさから、大学の学部や研究室の誘致、市民交流プラザ、子育て支援施設、高齢者支援施設などの複合施設や老朽化した産業会館の機能をそっくり移して産業支援施設も兼ねることも可能だと思います。いずれにしても、市民皆様のためになる活用方法を早急に検討するよう提言いたします。

ここに注目 **パート2** (花園インターチェンジまちづくりジャンクション構想)

これは、9月議会開会前に議員全員協議会に市が発表したもので、「深谷市は、広域的なまちづくりと地域経済の発展を目指し、近隣市町や地域住民、民間企業のみならずと共、花園IC（インターチェンジ）まちづくりジャンクション構想を推進します！！」というものです。



イメージ図

※深谷市提出資料より抜粋

花園IC拠点の形成
 花園IC拠点が、その役割を果たし、県北西部地域の広域的な活性化を成し遂げるためには、大勢の人を集める『ポータル（入口）機能』を有し、“ひと”と“ひと”、“まち”と“まち”の交流や連携を支える『ハブ（中継）機能』を備えている必要があります。
 このことから、本構想では、高い集客効果と認知効果を有するアウトレット・モール（都市型観光施設）などの商業系施設を配置（誘致）するとともに、隣接地には、深谷らしさを演出する農産物の生産・加工体験やイベント活動が行える公共施設を設置し、地域資源の活用、来訪者と地域住民、本市と近隣市町との交流・連携を図ります。
 なお、花園IC拠点の形成にあたっては、来訪者だけでなく、地域住民も親しめる場となるよう、円滑な交通処理計画（駐車需要対応、公共交通利用等）や周辺環境との調和（緩衝緑地、色彩配慮等）に留意します。

この構想の他にも、140号バイパス沿い、経済連西側で県による「産業団地」造成も検討されています。深谷市の発展と雇用確保のため推進していきたいと思っております。



清水の私見

本構想は、9月2日に埼玉県に設置された「県北地域企業立地推進会議」の思惑と合致しており、実現の可能性が非常に高いものと考えます。県の方針は県北への産業地の誘導を推進するもので、具体的には土地利用調整のスピードアップを図るため、土地利用に関しての法令を調整支援するというもので、適用地域はインターチェンジからおおむね5km、国道140号からおおむね3kmの範囲で適用期間は平成28年度までとされています。

花園IC拠点形成に伴う地域連携プロジェクト

県北西部地域の活性化のため、花園IC拠点形成と同時に、次のような連携プロジェクトの実施を検討・調整します。

- 観光型プロジェクト
 - ・Tour de BLACKH～ツール・ド・武甲～
 - ・豊かな森創造ツアー
 - ～1人1本柏樹ツアー～
 - ・秩父鉄道線の観光事業拡大（お花畑ツアーなど）
- 産業振興のプロジェクト
 - ・深谷牛等の特産品販売、増進プロジェクト
 - ・6次産業化の推進及び促進支援補助制度の創設
 - ・白売イベント（マルシェ）、Web-Shopなど
- その他
 - ・シャトルバス運行等による多様なアクセス確保
 - ・再生材の活用など

花園IC拠点（観光型集客機能）整備スケジュール

観光型集客機能は、平成26年度の“まち開き”を目指し、各種手法続き及び民間企業（アウトレットモール）の誘致を進めます。

	平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)
花園IC周辺拠点整備	基本構想				
花園IC周辺拠点基本計画 （誘引手段等）			基本計画・詳細計画		
基本設計・実施設計				設計	
工事（造成・建築など）					造成・建築工事

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
 TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396
 ホームページ：http://www.shimizu-kenichi.jp (ブログ公開中)
 E-mail：info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ（50才）
 家族構成 父、妻、子供3人（6人家族）+愛犬ショコラ（男の子）
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
 - 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
 - 深谷市PTA連合会 会長
 - 深谷市立花園小学校 PTA会長
 - 深谷市立花園中学校 PTA会長
 - 埼玉県立深谷高校 PTA会長
 - ふかや市商工会 理事
 - 深谷市議会 議員 建設委員会委員長
 - 深谷市議会 副議長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。